国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 23 年 9 月 13 日
国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
（電話 03-5572-0233）

直江津 LNG 受入基地の工事について（お知らせ）

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、2009（平成 21）年 7 月、新潟県上越市（直江津港）において液化天然ガス（LNG）受入基地の建設に着手し 2014（平成 26）年の操業開始に向け工事を順調に進めております。現在の進捗はＬＮＧタンク工事（70%）、プラント工事（30%）、桟橋工事（25%）、並びに接続パイプライン工事（20%）と、ほぼ工程通りのスケジュールとなっています。

また、建設中の LNG タンク 2 基について、このほど工事上の節目となるドーム屋根の浮上・据付が完了しました。今後は、LNG タンクの内槽工事、プラント設備据付工事、配管工事、各種建屋工事、プラント試運転を予定しており、工事終了まで無事故、無災害に努めてまいります。

１．直江津 LNG 受入基地に関するこれまでの経緯と今後の予定

2007（平成 19）年 8 月　9 日	建設計画を発表
2008（平成 20）年 8 月 25 日	建設に関する最終投資決定
2009（平成 21）年 7 月　7 日	起工式
2009（平成 21）年 7 月　8 日	工事着工
2013（平成 25）年央～（予定）	クールダウン、試運転
2014（平成 26）年初　（予定）	操業開始

２．直江津 LNG 受入基地の概要

名　称　：直江津 LNG 受入基地
建設場所：新潟県上越市八千浦（やちほ）12 番
敷地面積：約 25ha
主要設備：桟橋、タンク（地上式 18 万 kl タンク×2 基、将来 1 基増設可能）、
　　気化設備、熱量調整設備ほか
適用法規：ガス事業法

［補足説明］

当社は、新潟県南長岡ガス田などから産出する国産天然ガスを、総延長約 1,400km におよぶ広域パイプライン網を通じ、関東甲信越地域 1 都 7 県で、主に都市ガス事業者の皆様および商業用・工業用の需要家の皆様に供給しております。競合エネルギー価格の高騰や天然ガスの環境優位性を背景に天然ガスの需要は順調な伸びを見せており、パイプライン網の拡充に加え、2010（平成 22）年 1 月から静岡ガス株式会社の清水 LNG 袖師基地より LNG 気化ガス*を導入しております。さらにパイプライ

ン沿線の需要家の皆様に天然ガスを長期にわたって安定供給するため、直江津 LNG 受入基地（本基地）を建設しており、本基地完成後は、当社が所有するイクシスプロジェクト（オーストラリア）およびアバディプロジェクト（インドネシア）からの LNG を受け入れる計画であり、天然ガスの供給能力と安定供給体制が一層強化され、当社の海外の LNG プロジェクトと国内の天然ガス事業のインフラが有機的に結びつき、安定的な付加価値を生み出す「ガスサプライチェーン」が構築されることになります。

* 液化された天然ガス（LNG）を受入基地で再度気体に戻した天然ガスのこと。

以上

直江津 LNG 受入基地　現地の様子

（2011（平成 23）年 8 月 30 日撮影）

（2011（平成 23）年 9 月 13 日撮影）